

## 三宮～元町～神戸エリアの現状

### 1 各エリアの現状

#### (1) 三宮エリア

J R・阪急・阪神などの鉄道駅やバスターミナルなど交通結節機能が構築されるとともに、三宮駅北側は繁華街として賑わい、南側は商業集積地として機能するなど、神戸の玄関口として発展を遂げてきた。

また、2006年の神戸空港の開港により国内外からのアクセス環境が向上し、観光・経済面で神戸の中心として地域経済を下支えしてきた。

しかしながら、魅力あるまちの形成や地域経済のさらなる活性化に向けては多くの課題があり、都市間競争において選ばれるための魅力・活力の創造、周辺地域への回遊性向上、商業や業務、文化交流機能の集積と更新などが求められている。このため、神戸市において都心・三宮の再整備が進められている。

区分	利用者数	参考	
公共交通機関利用者数 (1日乗降客数 または旅客数)	J R三ノ宮駅	約 24 万人	2016年度乗車人員×2(県統計書)
	J R新神戸駅	約 2 万人	同上
	阪急三宮駅	約 11 万人	2016年(阪急電鉄)
	阪神神戸三宮駅	約 11 万人	2016年11月(阪神電鉄)
	神戸市営地下鉄三宮駅	約 12 万人	2016年度乗車人員×2(市交通局)
観光スポット来訪者数	神戸空港	約 307 万人	2017年度(神戸市みなと総局)
	生田神社	約 150 万人	2018年参詣見込み(神戸新聞)
	北野エリア	約 105 万人	2017年(神戸市観光入込客数調査)

#### (2) 神戸エリア

平成4年に商業・業務施設、住宅教育施設も含めた複合機能都市「ハーバーランド」として「まちびらき」を行い、神戸を代表する集客、観光拠点として多くの観光客で賑わうエリアであり、umieなどの大型商業施設やオフィス、住宅が計画的に整備された市街地である。

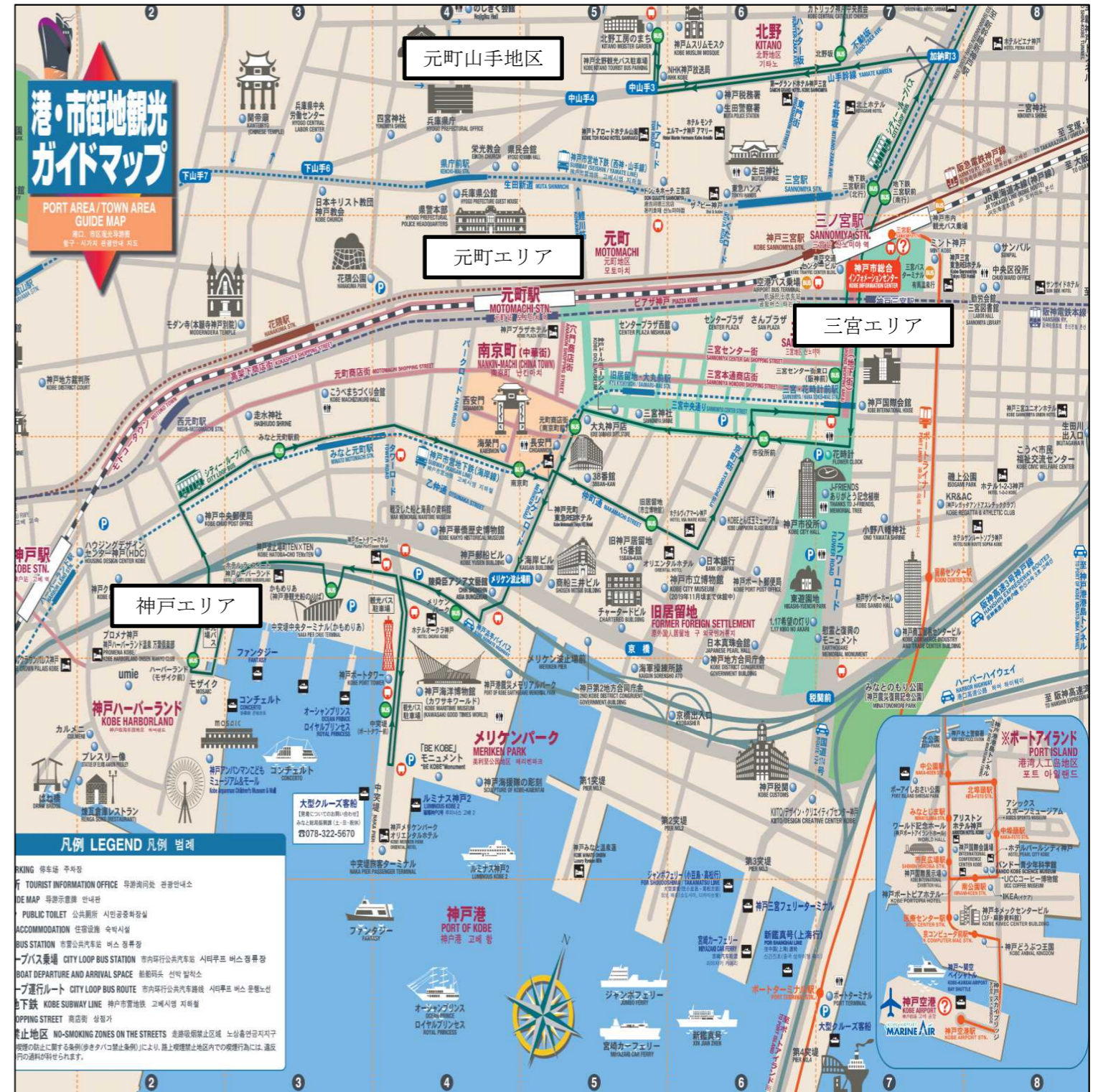
区分	利用者数	参考	
公共交通機関利用者数	J R神戸駅	約 14 万人	2016年度乗車人員×2(県統計書)
観光スポット来訪者数	umie	約 1,900 万人	2017年度(神戸新聞)
	湊川神社	約 110 万人	2018年参詣見込み(神戸新聞)

#### (3) 元町エリア

元町駅南側のエリアは、元町商店街や南京町などの商業地区となっており、ウォータースタンプフロントでは再開発が進められるなど、神戸有数の観光地である。

元町駅北側の当地区は、県公館、栄光教会、相楽園などの観光資源を有し、都心でありながら緑豊かな空間が広がっているが、県本庁舎などの行政機関が中心であり、施設の老朽化も著しく、まちの魅力が低下している。

区分	利用者数	利用者数	参考
公共交通機関利用者数	J R元町駅	約 10 万人	2016年度乗車人員×2(県統計書)
	阪神元町駅	約 2 万人	2016年11月(阪神電鉄)
	神戸市営地下鉄県庁前駅	約 1 万人	2016年度乗車人員×2(市交通局)
観光スポット来訪者数	神戸ポートタワー	約 36 万人	2017年(神戸市観光入込客数調査)



(参考) 神戸市観光ガイドマップ

## 2 周辺地域の開発の状況

### (1) 三宮周辺地区の再整備の状況

#### ① えき～まち空間の整備

神戸市は、市民・民間事業者・行政が協働で都心の再生を実現し、世界に貢献できる国際都市として発展することを目指し、平成27年9月に三宮周辺地区の再整備基本構想を策定した。

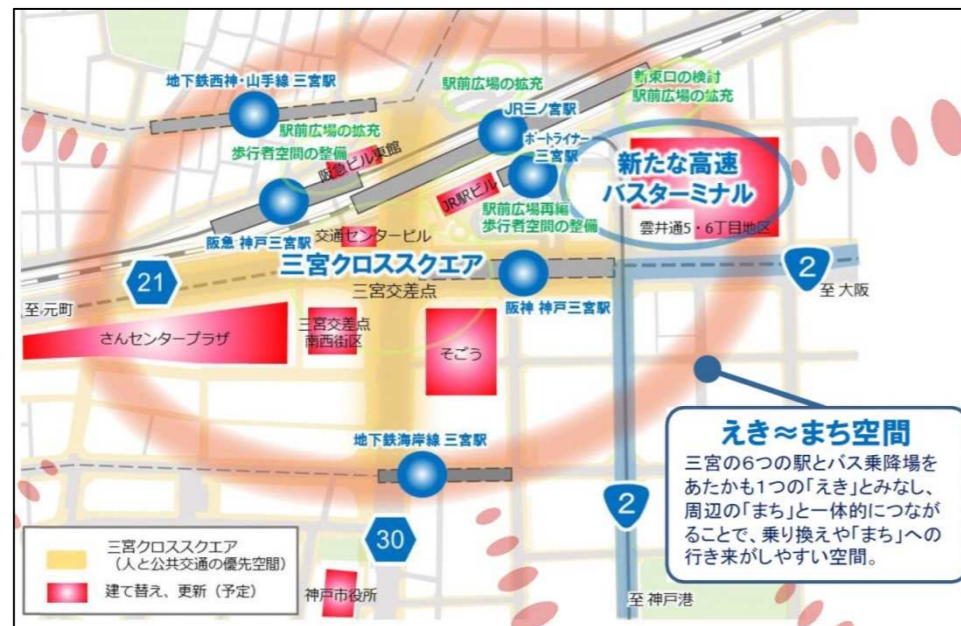
この構想に基づき、三宮交差点を中心にフラワーロード及び中央幹線の一部を、人と公共交通が優先の道路空間として整備する「三宮クロススクエア」や、三宮駅周辺に分散している中・長距離バス乗降場を集約したバスターミナルの整備などが進んでいる。

#### (三宮周辺地区の再整備基本構想)

□目指すべきまちの将来像 美しき港町・神戸の玄関口“三宮”

#### □まちづくりの5つの方針

- 笑顔で歩く 歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ
- 気持ちよく動ける 誰にでもわかりやすい交通結節点へ
- 誘う魅力が溢れる いつ来てもときめく出会いと発見を
- 海・山、神戸らしさを感じる 人を引きつけ心に残るまちへ
- 支え、まもり育て、発信する 地域がまちを成長させる



(出典)神戸市 神戸三宮駅前空間の整備方針から抜粋

### ② 鉄道事業者による駅ビルの再生

#### (7) 神戸阪急ビル東館の建替

阪急電鉄は、暫定的に運営してきた神戸阪急ビル東館について、神戸市営地下鉄との乗り換え利便性の向上や公共的空間の創出のため、2021年春竣工を目指し建築工事に着手している。



完成後の外観イメージ (フラワーロードから望む)

(出典)阪急電鉄発表資料から抜粋

#### (4) 三ノ宮ターミナルビルの建替え

JR西日本は、今後、JR三ノ宮駅に直結する三ノ宮ターミナルビルの建替を予定している。

### (2) ウォーターフロントエリアの再開発

神戸市は、ハーバーランドやメリケンパークのリニューアルなど、既存の施設や空間のさらなる魅力向上に加え、港湾物流機能の沖合への移転とあわせて新港突堤西地区において、新たな文化集客施設の導入などの再整備を進めている。

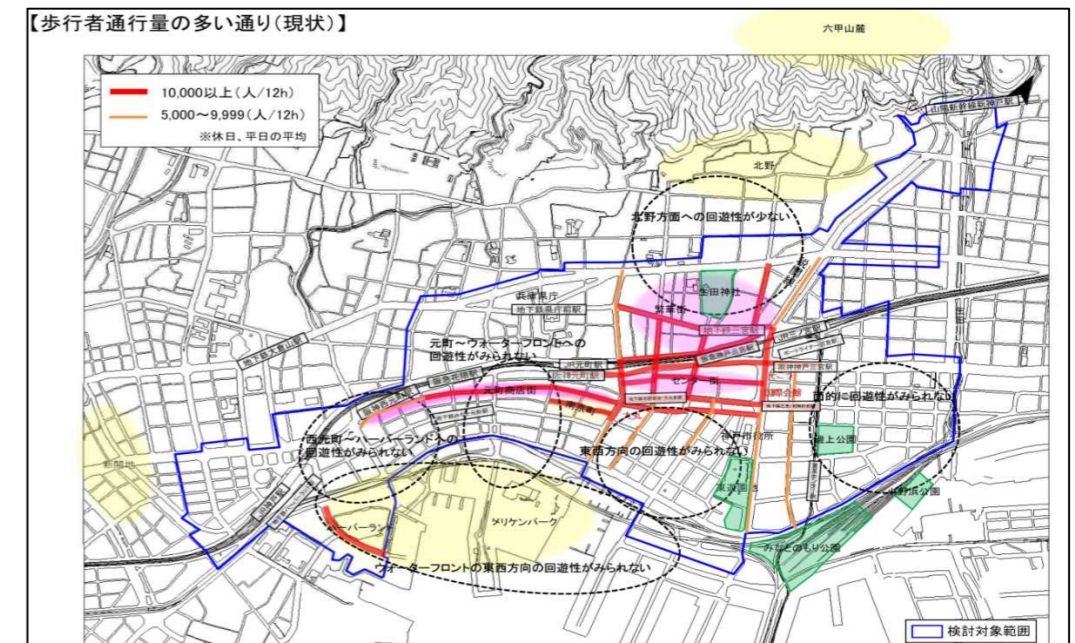
今後、ポートタワー、海洋博物館、中突堤中央ビルのリニューアルも検討している。

(出典)新港突堤西地区の優先交渉権者の設定に関する神戸市発表資料から抜粋



### (参考) 回遊性の状況

神戸市が過去に調査した交通量調査の結果では、三宮駅周辺から元町駅にかけて回遊が見られるが、三宮から北野方面への回遊性や、元町からハーバーランドへの回遊性が少ないといった課題が見られる。



(出典)神戸市 都心の土地利用のあり方に関する有識者会議報告書より抜粋

### 3 兵庫県・神戸市・神戸商工会議所の将来ビジョンを踏まえた元町山手地区の方向性

#### (1) 兵庫2030年の展望（案） ～「すこやか兵庫」をめざして～

##### ①概要

兵庫県では、人口減少や少子高齢化、革新技术の社会への浸透など、社会が大きく変化する2030年頃を見通し、兵庫の目指す姿や今後の取組の方向性等をまとめ「兵庫2030年の展望」（案）を策定している。

##### 基本方針

「未来の活力」の創出

～人口が減っても活力が持続する兵庫～

「暮らしの質」の追求

～豊かな生活ができる兵庫～

「ダイナミックな交流・環流」の拡大

～活躍の舞台が広がる兵庫～

##### 兵庫の2030年の姿

- ①価値創造経済
- ②全員活躍社会
- ③充実する「自分時間」
- ④未来に挑む人づくり
- ⑤子育て安心社会
- ⑥進む健康長寿
- ⑦安心な暮らし
- ⑧環境先進地
- ⑨御食国ひょうご
- ⑩交流五国
- ⑪豊かな生活空間

#### ②ビジョンに明示されたプロジェクトで当地区において実施が見込まれるもの

- ・海外の企業や人材を呼び込むビジネス・生活環境の充実
- ・芸術文化に親しむ機会、日常的にスポーツを楽しむ環境づくり
- ・宿泊施設や食の魅力を楽しめる場、エンターテインメント事業等の充実
- ・MICEの環境整備と誘致促進

#### (2) 神戸の都心の未来の姿「将来ビジョン」 ※平成27年9月 神戸市策定

##### ①概要

神戸市では、神戸の都心を大胆に活性化していくため、新神戸から三宮、元町を経て神戸・ハーバーランドまでの範囲を対象とする、神戸の都心の未来の姿〔将来ビジョン〕を策定している。

- コンセプト 日々の刺激と物語が生まれる美しき港町・神戸  
～多文化・多世代交流 あなたが参加しているまち～

#### ○都心に備える8つの軸

- ①景観：あちこちで神戸を感じられるまちへ
- ②にぎわい：次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ
- ③生活・居住：人がつながり、まちに溶け込み、自分らしい生活がおくれるまちへ
- ④産業：人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ
- ⑤観光・文化：五感に響く心地良さと、おもてなしのあるまち、  
そして、港町としての歴史と文化の息づくまちへ
- ⑥防災：不測の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ
- ⑦環境・エネルギー：環境に優しく、エネルギーをスマートに活用する持続可能なまちへ
- ⑧交通：誰もが使いやすい交通手段が整い、歩く人が中心のまちへ

#### ②ビジョンに明示されたプロジェクトで当地区において実施が見込まれるもの

- ・人を主役にした神戸らしい景観と、それを感じながら歩いて楽しむまち
- ・都心にある公園や広場をもっとたくさんの人が楽しく利用できるまち
- ・外国人にとっても居心地のよいまち、歴史と文化に触れ贅沢な時間を味わえるまち
- ・災害時に多くの帰宅困難者が集まる空間の整備

#### (3) 神戸経済ビジョン（2030年神戸経済の将来像）※平成30年3月 神戸商工会議所策定

##### ①概要

神戸商工会議所は、神戸の強みを再定義し、中長期的な視点から神戸経済全体のあるべき姿を将来展望として経済界の立場から発信している。

『OPEN × CONNECT（広く開かれ神戸でつながる）』

世界へ開き、融合と革新を続ける神戸クラスター  
つながりを進化させる産学官のパートナーシップ

#### 「2030年の基本目標・目指すべき姿」

##### 都市政策の5つの基本目標

- ①世界にオープンに開かれエッジの効いた人材や企業が集まり、交流するまち
- ②中心部に人・産業が緊密につながるクラスターを形成、コネクト&コンパクトなまち
- ③快適に住み、学び、働き、何度でも訪れたくなるまち
- ④海と山の景観・ロケーション、オンリーワンの地域資源が人を魅了するまち
- ⑤陸・海・空の交通ネットワークがシームレスに快適につながるまち

#### ②ビジョンに明示されたプロジェクトで当地区において実施が見込まれるもの

- ・外国・外資系企業・外国人学校の集積、外国人ビジネスパーソンのニーズに対応したレジデンス整備、外国人コンシェルジュ機能・交流機能の充実